

地球ネットワーク in こまがねとおり姫クラブの
七夕交流会



地域に暮らす外国人と共に活動するボランティア団体「地球人ネットワーク in こまがね」は、7月2日(土)、折り紙作りを通じて住民同士のつながりづくりを目指すボランティア団体「おり姫クラブ」を招き、七夕交流会を行いました。

おり姫クラブのメンバーが折り紙の講師となり、織姫、彦星、提灯などの作り方を実演。地球人のメンバーが手ほどきを受けながら、楽しく、時に真剣な表情で折り紙を折っていました。

この日参加された地球人メンバーでインドネシア出身の男性は「折り紙初めてだけど、楽しいね!」と、出来上がった作品を嬉しそうに披露して下さいました。

最後には、短冊にそれぞれの願いをしたため、皆で七夕飾りをしました。

今号の話題

- 令和3年度決算の概要
- 社協理事会・評議員会の報告
- 総会と講演会の夕べ
- 善意銀行
- なんでも伝言板
- 正規職員募集

発行者

駒ヶ根市社会福祉協議会 (ふれあいセンター)

駒ヶ根市梨の木2-25

<http://www.kmshakyo.org/>

TEL.0265-81-5900 FAX.0265-81-5745

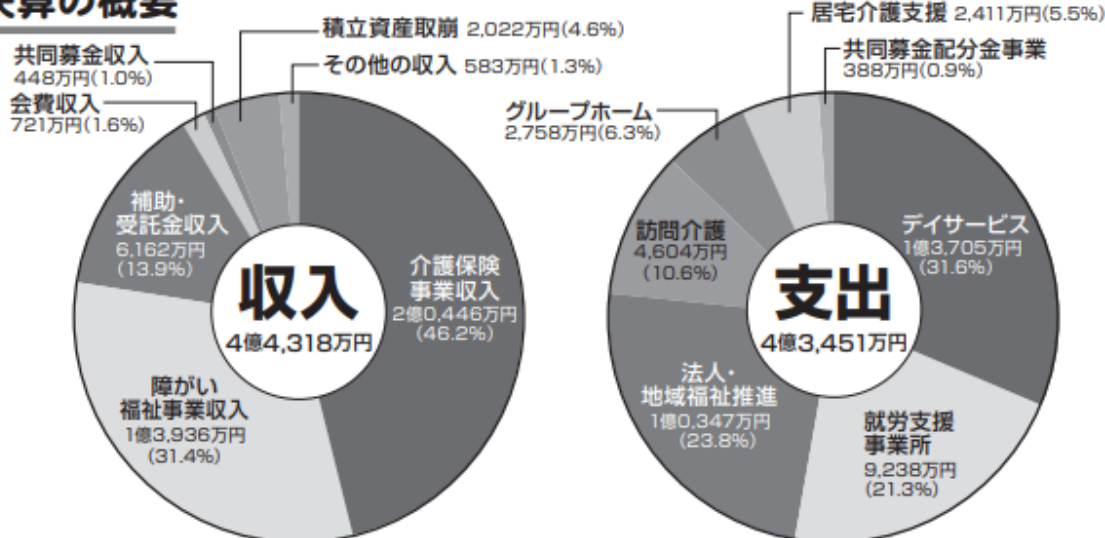


「社協だより」の発行には共同募金の配分金が使われています

令和3年度

市社協の決算と事業

■決算の概要



■事業の概要

令和3年度当協議会の事業は「支え合いの中で 安心と生きる喜びをもって 笑顔あふれる 地域社会を」を基本方針に事業実施を目指しましたが、令和3年度も新型コロナウイルスの影響は、人と人とが互いに距離を取り、接触する機会を減らすことになりました。

これまで地域の方々にご協力いただき実施してきましたふれあいいきいきサロン活動やボランティア活動、ふれあい広場、ひとり暮らし高齢者の集い等多くの事業や活動が中止や休止となり活動自粛を昨年に続き余儀なくされました。

コロナ禍でもできることを模索しながら、ひとり暮らし高齢者を応援する番組を放映し、高齢者宅に保育園児のメッセージカードを送付しました。社会福祉大会は市とエコシティ駒ヶ岳のご協力により番組を作成し放映することができました。

市内の企業や個人の方からコロナによる生活困窮者支援に多くの食料やご寄付をいただきました。子ども食堂と共催で10月と3月に「食料応援の日」を実施してご寄付いただいた厚志を還元することができました。

11月に県防災訓練として災害ボランティアセンター立ち上げ訓練、12月に福祉避難所開設訓練を実施しました。

成年後見事業については、令和3年6月から法人後見受任を開始し着実に進めています。

コロナ禍での厳しい事業運営を行った令和3年度でしたが、令和元年から続けている経営改善の成果が出始めて、法人全体としては黒字決算となり社会福祉充実残額が出ました。

1. 地域福祉の推進

コロナ禍でも高齢者や障がい者等の支援を継続することに努め、ふれあいいきいきサロン事業等にご協力いただいている地域の方やボランティアの方の支援のため、10月に地域支えあいサポーターフォローアップ講座を2回に分けて開催しました。12月にはサロン交流会も行いました。

権利擁護の推進のひとつとして取り組んでいます成年後見事業については、令和3年6月に法人後見受任を開始して、令和4年3月末で6人の成年後見・保佐を受任しています。

第36回ふれあい広場は中止となり、第58回社会福祉大会も市とエコシティ駒ヶ岳のご協力をいただき、番組として放映する形で開催することになりました。

2. 受託事業

新型コロナウイルスに伴う生活福祉資金特例貸付は終了期限が再三にわたり延長され、令和4年3月末で290件89,959千円になり、新型コロナウイルスが及ぼした生活への影響の大きさと通常の生活に戻るまでに継続した支援が必要なことを痛感しています。

3. 介護保険事業

社協全体収入の約6割を占める介護保険事業の経営基盤の安定を図るため、令和元年11月に介護保険事業の現状把握と改善計画を継続するため検討部会を設置して経営安定に努めました。介護保険事業全体では、約1,200万円の黒字となり、前年度の70万円の黒字に比べ令和元年から行っている経営改善の成果が出始めた決算になりました。

4. 障がい者自立支援事業

令和3年2月に障がい者グループホームほほえみの家として開所し、障がい者の方が安心して暮らせるグループホームになるよう努めています。

新型コロナウイルスは市内企業にも多大な影響を与え、たんぼの家、伊南桜木園にご協力いただいている企業も発注の停止や縮小を余儀なくされました。たんぼの家ではこころの医療センターの喫茶が昨年に続き休業となり、伊南桜木園では果樹の収穫等新たな取り組みを行いました。利用者の工賃は厳しい業況が続いています。

障がい者支援事業全体で約700万円の黒字となり、前年度より600万円余の増加となりました。

社協理事会・評議員会の報告

令和4年6月9日 理事会開催
6月24日 評議員会開催

◎可決された主な議案

- 令和4年度第1回理事会（令和4年6月9日開催）
令和3年度事業報告・決算報告・監査報告他
- 令和4年第1回評議員会（令和4年6月24日開催）
役職交代に伴う理事の選任・解任について
令和3年度事業報告・決算報告・監査報告他

◎人事

役職交代に伴い役員が下記のように決定しました。

《理事の選任》	任期:令和5年6月の評議員会まで	《評議員の選任》	任期:令和5年6月の評議員会まで
竹村 清明氏	市区長会長	石田 敦嗣氏	市区長会副会長
木下 勝敏氏	市ボランティア連絡協議会会長		



地域の方と共に畑作業（グループホームほほえみの家）

福祉を考える企業の会「総会と講演会の夕べ」開催

6月29日市民交流活性化センターアルパにて開催されました。

総会では石田耕一会長（石田建設㈱代表取締役社長）より、企業も地域の社会資源の1つとして、地域貢献を実践している歴史ある会であることや、昨年度長野県看護大学への食料応援について活動報告の挨拶がありました。

講演会の夕べには、ボランティア連絡協議会会員含め、約40名の参加がありました。講師として、子育て中のママたちのキャリアや子どもの学びを応援するボランティア団体「つなぐ♡HUB」代表の宮澤富士子さんをお招きし、『失敗なんかないねん！～なんでもええから1回やってみい！～』と題して講演会を行いました。宮澤さんは関西のご出身ですが、駒ヶ根市と関西の子どもたちの



の失敗した時の反応について、関西人は失敗を笑いに変えられるが、信州人はとてもまじめであるが故に失敗が許されないと思い委縮してしまう傾向があるとお話しされました。また、「失敗を恐れず、チャレンジすることを大切にし、1人の子どもも自分の人生を捨てることのないよう、愛をたっぷり受けて育ててほしいと願い、現在の多岐にわたる活動をしている。」というお話しが印象的でした。講演の後は、つなぐ♡HUBメンバーの皆さんとのワールドカフェスタイルの意見交換会が行われました。会としては初めての、全員参加型の講演会となりました。



善意銀行報告

氏名等	金額(円)・物品
(株)ダイナム長野駒ヶ根店様	生活雑貨、食料品
匿名	福祉用具
駒ヶ根ライオンズクラブ様	米

あたたかな真心、
ありがとうございました。
(令和4年4月1日～6月30日)



日本発条㈱DDS駒ヶ根工場様	非常用食品
藤川 賢治様	使い捨てエプロン、プラスチックグローブ、タオルほか



なんでも伝言板

申し込み・お問い合わせは社協へ
TEL 81-5900

あげますのコーナー ください



子ども用の衣類以外にもやり取りできるというお声をいただき、「あげますください」のコーナーを設けることにしました。

「こんなものがほしいけど、使わなくなった人はいないかな」「使わなくなったけど捨てるのはもったいないし、誰か使ってくれないかな」など、資源の有効活用とそれぞれの方のご事情が繋がる機会になればと思います。

《ご利用方法》

☆『あげます』へ掲示希望の方

①品名②使用年数③サイズ④氏名⑤電話番号⑥メールアドレスと写真を添付の上、高砂園へメール (takasagofeat.km@outlook.jp) でお送りください。または、直接窓口へお越しください。

(※掲示は写真と商品詳細のみで、個人情報は一切掲示いたしません)

☆欲しい商品がある方

希望の商品がある方は、高砂園へご連絡下さい(電話・メール可) 商品提供者の方へ連絡し、直接連絡して頂きますので、連絡先をお伝えください。受け渡し等は、当人同士でお願いいたします。これ以降、高砂園は関与いたしませんので自己責任でお願いいたします。

☆『ください』に掲示希望の方

こんなものもらえないかな?と希望を載せるコーナーです。

(例) ベビーベッドが欲しい、学習机がほしい etc...



◆ご注意ください◆

※衛生用品・食品、公序良俗に反する物等はお取り扱いいたしかねます。
※商品のお預かりはいたしませんので自宅保管でお願いいたします。

☆お問い合わせ☆

駒ヶ根市赤須東2-12
障がい者センター高砂園
TEL・FAX 82-2012
E-Mail: takasagofeat.km@outlook.jp

令和5年4月採用 社会福祉法人 駒ヶ根市社会福祉協議会正規職員募集

資格要件	社会福祉士・介護福祉士・看護師(准看護師)・作業療法士・理学療法士・介護支援専門員等福祉関係の国家資格等有資格者・普通自動車運転免許 ○新卒者等：資格取得者または見込みの者 ○社会人：資格取得者	二次試験日 令和4年9月11日(日) 午前10時より面接試験
募集人数	若干名	合否決定通知 一次試験結果 8月26日(金) 発送予定 二次試験結果 9月16日(金) 発送予定
一次試験	令和4年8月19日(金)までに、履歴書、資格要件証明書の写し、作文を駒ヶ根市社会福祉協議会まで提出	採用時期 令和5年4月1日
作文テーマ	①地域における社協の役割について、あなたはどのように考えますか。 ②介護の専門職として、あなたが最も大切にしたいことはなんですか。 ③福祉専門職の相談スキルにとって、あなたは何が最も重要だと思いますか。 上記3題から一つ選び800字以内(自筆作成のこと)	勤務職場 本会運営の市内福祉施設 介護保険事業所・障がい者支援事業所・地域福祉振興事業所 ◇ホームページに掲載してあります。
		お問合せ 駒ヶ根市梨の木2-25 (ふれあいセンター内) 社会福祉法人 駒ヶ根市社会福祉協議会 総務課(松井・堀越) TEL 0265-81-5900 FAX 0265-81-5745 ホームページ： http://www.kmshakyo.org/

